

全校朝会講話 「あたりまえのことをあたりまえに」

全校のみなさん、おはようございます。 今日も放送での全校朝会です。  
先週は、「新型コロナウイルス感染症」について話しました。引き続き、十分に気を付けて生活していきましょう。学校生活の中では、登下校の時、休み時間、給食の時間の過ごし方などに特に気を付けてください。

さて、今日は、「あたりまえのことをあたりまえにする」ということについてお話をします。  
毎日の生活の中で、「あたりまえにしていること」というと、みなさんはどんなことを思い浮かべますか？

おうちでの生活を思い出してみると、ご飯を食べること、歯を磨くこと、お風呂に入ること、寝ることなど…、 そういったことは、毎日あたりまえにしていることですね。  
だとすると、「あたりまえのこと」というのはどういうことなのでしょう。

たぶん、特別な心構えをしなくても、誰かに何かを言われなくても、毎日、自然にやっていることではないでしょうか。もちろん、学年によって、時には人によっても、この「あたりまえのこと」は違ってくることがあります。

学校生活の中にも、「あたりまえのこと」はたくさんあります。  
ところが、分かっているのだけれど、ついでできなかった、ということもあるものです。

たとえば、次のことはどうでしょうか。5つ聞きます。自分を振り返ってみてください。  
できていたら、黙って手を挙げてみてもいいですね。では、聞きます。

- 1 今朝、先生や友達に気持ちのよいあいさつができましたか？
- 2 時間割や連絡帳を見て、毎日、忘れ物をせずに登校できていますか？
- 3 いつも、廊下は走らず、右側を歩いていますか？
- 4 先生の話を書くときは、目を見て、黙って、最後まで聞くことができますか？
- 5 友達の気持ちを大切に、仲良くできていますか？

さて、5つのこと、どうでしたか。

自分にとっての「あたりまえ」、ぜひ増やしていってほしいと思っています。  
それは、みなさんが多くの人と共に、しっかりと生きていくために必要なことです。  
あたりまえのことをあたりまえにできるようになると、いいことがいっぱいあります。  
どんないいことがありそうか、ちょっと考えてみてくださいね。

今週、何よりもあたりまえのこととしてやってほしいのは、「友達の気持ちを大切に、仲良くする。」ということです。

これで、お話を終わります。